

平成30年度事業計画

平成29年度は、岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」の充実や岩手県観光案内図「いわて旅マップ」全面リニューアルなど、国内外に向けた情報発信の強化に努めたほか、復興途上にある沿岸地域や台風10号で被災した地域への誘客を図るため、旅行会社の招請事業や地域づくりに取り組む団体への支援事業などを実施した。また、関係機関と連携し、新たに、外国人留学生のモニターツアーや海外情報セミナーなどを実施し、外国人受入態勢の強化などにも取り組んだところである。

平成30年度は、6月2日、3日に開催される「東北絆まつり2018盛岡」を絶好の機会として捉え、関係団体との連携のもと、全県への誘客拡大に取り組むとともに、沿岸地域への本格的な誘客促進を図るため、現在整備が進められている復興道路や復興支援道路のほか、今後予定されている宮古・室蘭間のフェリー定期航路開設や三陸鉄道全線開通などの新たな交通体系を生かした旅行商品の造成や魅力ある観光地づくりなどに取り組むこととする。

また、2019年には大型イベントである三陸防災復興博（仮称）及びラグビーワールドカップ2019™が開催予定であるほか、JR東日本の重点販売地域（4～6月）に岩手県が指定され「いわて観光キャンペーン（仮称）」の実施も予定されていることから、県や三陸DMOセンター、JR東日本などの関係機関とも連携しながら、県内の観光メニューの発掘や磨き上げ、国内外に向けた、広域周遊観光などの魅力ある情報の発信に努めるとともに、高齢者、障がい者など誰もが楽しんでもいただけるようなバリアフリー対応状況などの新たな情報の発信、観光案内機能の充実にも取り組むこととする。

一方、国際観光の分野においては、国際定期便の就航を目指す台湾や韓国のほか、開拓市場である東南アジアからの誘客拡大を図るため、県や関係機関との連携を一層強化しながら、各種の情報発信や本県を訪れる海外メディア等への支援、外国人留学生のモニターツアーの実施など受入態勢の強化に引き続き取り組むこととする。

なお、事業推進に当たっては、国の観光施策や県の国際戦略への対応のほか、東北全体の知名度向上と東北ブランド構築の観点から、北東北三県観光立県推進協議会、東北観光推進機構等、東北広域での密接な連携のもと、各団体等が行う海外での各種プロモーションの展開やICTを活用した情報発信事業等との連携強化にも努めるものとする。

こうした基本的認識に立って、県、市町村、市町村観光協会、観光関係団体、民間企業等と緊密に連携し、以下の重点事項を中心に事業を展開することとする。

1 情報発信

岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」において、インバウンドやバリアフリー対応状況なども含め、より一層タイムリーな情報発信に努め、日本語及び外国語のアクセス数の増加を目指すほか、「岩手県観光案内図（いわて旅マップ）」を増刷し配布する。

2 国内誘客対策

大都市圏における本県の知名度向上のため、東京都、名古屋市、大阪市及び仙台市において観光客誘致説明会を開催し、本県観光の魅力を強力に発信する。

また、教育旅行の誘致拡大を図るため、札幌市、函館市、東京都及び大阪市において、旅行会社の修学旅行担当者及び中学校等の担当教諭を対象とする誘致説明会及び商談会を引き続き開催する。

3 受入態勢整備

おもてなしの一層の向上を図るため、インバウンドやバリアフリーをテーマとした接客研修会を開催するほか、接客講師を県内各地に派遣する出前接客研修会を開催する。

また、バリアフリー対応状況などの観光案内を充実させるための体制づくりを行う。

4 国際観光推進

外国人観光客の一層の誘客を図るため、台湾や韓国、タイなどの東南アジアにおける旅行博等に参加して本県の知名度の向上に努めるほか、県や関係機関との連携を強化しながら各種の情報発信や受入態勢の強化に取り組む。また、海外メディアや旅行エージェントが本県を訪れる際の支援等を行うほか、外国人留学生によるモニターツアーの実施などにより、本県の知名度及び受入態勢の向上を図る。

5 連携・支援

県や関係機関と連携しながら、県内外の観光 PR に参加し、いわての情報発信に努めるほか、地域間競争に対応する観光地づくりのため、地域の観光関連事業者が連携して行う、地域の資源を活用した特色ある観光地づくりに向けた取組みを支援する。

I 【情報発信】

1 観光情報高度化推進事業

(1) 観光情報高度化推進事業

岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」において、インバウンドやバリアフリー対応状況なども含む、より一層タイムリーな情報発信に努め、日本語及び外国語のアクセス数の増加を目指す。

(2) 観光情報システム分担金事業

(公社)日本観光振興協会が実施する「全国観光情報データベース」の整備・運用に対し、観光情報システム分担金を拠出する。

2 パブリシティ有効活用事業

首都圏、近県等をターゲットとして、地域情報誌、旅行雑誌等を活用して観光情報の発信を行い、本県の知名度の向上を図り、一層の誘客を促進する。

3 観光宣伝媒体作成事業

全県的かつ基礎的な観光資料である「岩手県観光案内図（いわて旅マップ）」を増刷し配布する。

4 観光キャラクター活用事業

本県のPRキャラクター「わんこきょうだい」を活用したグッズを作製して頒布し、本県のイメージアップ、認知度の向上を図り、誘客拡大に資する。

II 【国内誘客対策】

1 観光客誘致促進事業

(1) 観光客誘致説明会

大都市圏における本県の知名度向上のため、東京都、名古屋市、大阪市及び仙台市において、旅行会社の旅行商品造成担当者等を対象とした観光客誘致説明会を開催する。

(2) エージェント招待事業

首都圏等に加え、宮古・室蘭フェリー航路開設に伴い北海道も含む旅行会社の造成担当者を本県に招待し、主に沿岸地域の観光地の視察の機会を提供することにより、新たな観光資源の発掘、旅行商品化を働きかける。

2 教育旅行誘致促進事業

教育旅行の誘致促進のため、二つの世界遺産を有することを強くアピールするとともに、いわての豊かな地域資源を生かした魅力ある教育旅行体験メニューを紹介する誘致説明会を、これまでと同様に北海道函館市、札幌市、東京都及び大阪市において開催する。

Ⅲ 【受入態勢整備】

1 いわたの観光サポート事業

(1) 「いわて観光おもてなしセンター」管理運営

協会内に設置した「いわて観光おもてなしセンター」において、来訪による観光相談や電話及び電子メール等で寄せられる資料請求等に対応し、観光情報を提供する。

(2) 「V」案内所運営等観光情報提供事業

協会内に設置した「V」案内所において、外国人旅行者に対して観光情報を提供するとともに、県内外の観光案内所等との連携を強化し、国内外旅行者に対し観光情報を提供する。

(3) 「いわてバリアフリースターセンター」設置運営

協会内に「いわてバリアフリースターセンター」を設置し、バリアフリー対応状況など高齢者、障がい者などへの観光情報の提供のほか、受入に向けた研修会等を実施する。

2 いわて・盛岡広域観光センター運営

本県を訪れる観光客に対して観光情報の提供、観光相談等を行うため、盛岡駅南口にある観光案内所の運営経費の一部を助成する。

3 ボランティアガイド育成事業

観光ボランティアガイドの資質の向上と相互の連携を目的に設立した「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」に対して支援を行う。

4 観光業務優良従事者表彰

観光業務に従事する職員の意欲の高揚と資質の向上を図るため、各団体より他の模範とするに足りると認められて推薦された方々を「いわて観光の日」事業において表彰を行う。

5 「おもてなしの心」向上研修事業

本県の「おもてなし」の向上を図るため、「いわて観光おもてなしマイスター」のレベルアップ研修会を兼ねて、観光関連施設従事者や観光関係団体の職員等を対象とした研修会を開催するとともに、同おもてなしマイスターを地域に派遣する出前接遇研修会を開催する。

6 「観光の日」事業

「いわて観光の日」（5月16日）に合わせて、県民の観光に対する意識啓発活動の一環として、観光業務優良従事者表彰、観光関係者による講演等の記念事業を行い、気運の醸成を図る。

Ⅳ 【国際観光推進】

1 外国人観光客誘致宣伝事業

本県の外国人旅行者誘致の主要なターゲットである台湾又はアセアン諸国において開催される旅行博等に参加・出展し、観光情報の紹介やPRを行うとともに、旅行会社及び航空

会社への商談活動を行うほか、県が主催する観光ミッション団等に参加し、各種観光情報の発信を行う。

2 外国人観光客受入態勢整備事業

(1) 国際チャーター便歓迎行事等

いわて花巻空港を利用する台湾等の国際チャーター便の歓送迎行事を実施し、本県の外国人観光客の誘致を促進する。

(2) 「V」案内所運営（いわて・盛岡広域観光センター）

本県を訪れる観光客に対して観光情報の提供、観光相談等を行うため、盛岡駅南口の「V」案内所の運営経費の一部を負担する。

(3) 外国人観光客受入態勢整備事業

海外メディアや旅行エージェントが本県を訪れる際、そばっちの派遣やグッズの提供などおもてなしの支援を行うほか、外国人留学生によるモニターツアーを開催し、受入態勢の向上を図る。

3 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営

北東北三県及び北海道が共同で設置する北東北三県・北海道ソウル事務所の管理運営を岩手県から受託し、韓国からの観光客の誘致促進のために観光商談会に参加するほか、平成29年度から、北東北三県・北海道ソウル事務所長をソウルに駐在させ4道県が連携して実施する事業に対して、支援、協力する。

V 【連携・支援】

1 各種キャンペーン支援事業

(1) いわて観光キャンペーン推進費

いわて観光キャンペーン推進協議会へ負担金を支出し、同協議会の活動を支援する。

(2) いわてウインターリゾート協議会事業

冬季におけるスキー客等の誘客を図るため、いわてウインターリゾート協議会への負担金を支出し、同協議会の活動を支援する。

(3) 各種キャンペーン支援事業

上記(1)、(2)の協議会をはじめ、県や関係機関等が実施する観光キャンペーンの活動を支援、協力するほか、様々な観光イベントに出展・参加し、各種観光情報の発信を行う。

2 魅力ある観光地づくり支援事業

地域の観光事業者が主体となって行う、地域の資源を活用した特色のある観光地づくりを支援する。

3 (公社) 日本観光振興協会への拠出金

(公社) 日本観光振興協会に全国広域観光振興事業に係る拠出金を拠出する。

4 東北観光推進機構事業

東北七県・民間団体等で構成する「東北観光推進機構」に負担金を拠出し、オール東北による海外プロモーションや教育旅行の誘致活動などの国内外観光客の誘客促進に向けた事業を通じ本県への観光客の誘致、宣伝を図る。

5 北東北三県観光立県推進協議会事業

北東北三県等で構成する「北東北三県観光立県推進協議会」に負担金を拠出し、北東北一体となった広域観光マップの作成や合同での台湾教育関係者招請事業などの国内外観光客の誘客促進事業を通じ本県への観光客の誘致、宣伝を図る。

6 観光宣伝事業等負担

岩手県空港利用促進協議会等の観光関係団体等に対して負担金を支出する。

【その他】

- 1 観光関連団体との連携を一層強化するとともに、当該団体が主催する各種イベントやMICEの誘致等の実施に対して積極的に支援、協力する。
- 2 国際リニアコライダー（ILC）の実現に向けて、観光面から連携・協力する。
- 3 グローバル人材の育成に、県や関係団体と連携・協力する。